

2018. 2. 28

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成30年3月6日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

《2月のおはなし会で使った本》

『だれかな?だれかな?』（紙芝居）内山晟/写真 中村翔子/文 教育画劇 2002

『てぶくろ』 エウゲーニー・M・ラチョフ/え 内田莉沙子/訳 福音館書店 1965

『パンツのはきかた』 岸田今日子/さく 佐野洋子/え 福音館書店 2011

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

★子ども読書ネットワークフォーラム in 岩国

○日時：平成30年3月11日（日）

10：00～11：30 講演会「絵本の制作秘話と裏話 ～絵本とワークショップ～」（中学生以上）

講師：絵本作家スギヤマカナヨ

13：15～13：45 「ブックスタートボランティアによるちいさい子のおはなし会」（未就園児とその保護者）

14：00～16：00 「えほんのじかんのおはなし会スペシャル」（幼児～小学生向け）

15：00～15：30 「トッキーさんのわらべ歌」（幼児～小学生向け）

○会場：岩国市中央図書館 ○定員：講演会のみ100名（要申込み・先着順） 午後の参加は申込み不要

○参加費：無料 ○申込み先：岩国市中央図書館（TEL:0827-31-0046 FAX:0827-32-4646）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『にゃんにゃん』 せなけいこ/さく 福音館書店 2018.1 ¥900

「あたしねこちゃんがすき」「にゃーん」「ねこちゃん、いっしょにあそびましょう」「ぎゃあー」女の子が子猫を抱っこすると、子猫は嫌がり、女の子の腕から逃げ出します。女の子が子猫たちのあとを追いかけていくと…。鮮やかな緑色の背景に、貼り絵で表現された白、黒、トラ、ミケ、ブチの子猫たちが可愛らしい、赤ちゃん絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『だるまちゃんとかまどんちゃん』他2作 加古里子/さく・え 福音館書店 2018.1 ¥900

「かまどんちゃん」は、どこからともなく現れて、ままごと遊びに加わる不思議な子。東北地方に伝わる火の守り神「カマド神」をモチーフにした本作の他、沖縄の精霊をモチーフにした『だるまちゃんとキジムナちゃん』、化け物退治をした猪俣太（いのはやた）の子孫が登場する『だるまちゃんとはやたちちゃん』。91歳の作者による「だるまちゃんシリーズ」の新作3冊が同時刊行。

<絵本-5, 6歳から>

『巨人の花よめ スウェーデン・サーメのむかしばなし』 菱木晃子/文 平澤朋子/絵 BL出版 2018.1 ¥1600

極寒の大地で、トナカイの群れとともに満ち足りた暮らしをしていた父と娘のチャルミ。ところが、ある日、恐ろしい巨人がやってきて、美しいチャルミを嫁によこせと迫る。しかし、チャルミは知恵と勇気で巨人を撃退する。親しみやすく美しい絵が、スウェーデンのラップランド地方に住む少数民族・サーメ人の暮らしぶりを伝えてくれる。サーメ人に伝わる昔話の絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『IMAGINE-イマジン<想像>』 ジョン・レノン/詩 ジャン・ジュリアン/絵 岩崎夏海/訳 岩崎書店 2017.11 ¥1700

想像して。国や宗教の違いを越え、みんながひとつになった平和と友愛の世界で生きること。世界平和を訴えたジョン・レノンの名曲「IMAGINE」の詩が、一羽のハトを主人公にした絵本になった。ヨーコ・オノ・レノンによる序文、ジョン・レノンの原詩（英語）と、アムネスティ・インターナショナルによるあとがきも巻末に掲載。

<絵本-小学校中学年から>

『プランクトンのえほん1 ミジンコ』 吉田丈人/監修 ほるぷ出版 2017.11 ¥1500

小学校の理科の教科書で必ず紹介される動物プランクトンのミジンコ。わずか1～3ミリメートルの小さな生きものだが、スイスイ泳ぎ、よく食べ、ウンチもする。透明なミジンコの生き生きした姿を顕微鏡で撮影し、大きく美しい写真で詳しく説明。「プランクトンのえほん」シリーズは、「ゾウリムシ」「植物プランクトン」の全3巻。ノンフィクション写真絵本。

<絵本-小学校高学年から>

『かぶきがけかるねこづくし絵本2 義経千本桜』 吉田愛/文・絵 瀧晴巳/解説 講談社 2017.11 ¥1600

兄の頼朝から謀反の疑いをかけられ、都を追われる源義経。歌舞伎三大名作のひとつ「義経千本桜」では、平知盛たち平家の落人や静御前、キツネなど、多くの登場人物が活躍する。有名な歌舞伎の名場面を、ねこたちが役者に扮するスタイルで表現。舞台や衣装もよく描き込まれ、巻末解説もわかりやすい。子どもから大人まで楽しめる歌舞伎入門絵本。第1巻は『仮名手本忠臣蔵』。

＜読み物—小学校低学年から＞

『うみのとしょかん チンアナゴ3きょうだい』 葦原かも/作 森田みちよ/絵 講談社 2017.12 ¥1100

一緒に本を読むとお互いの体がすぐに絡まってしまうチンアナゴ3きょうだい。真っ暗な深海で提灯を灯して読書するチョウチンアノコウは、海がめに頼んでとしょかんから本を運んでもらうのが楽しみ。お腹で赤ちゃんを育てるタツノオトシゴのお父さんは、読み聞かせて胎教を。老眼で字が読みにくいジンベイザメのおじいさんが読書する方法とは、『うみのとしょかん』に続く2作目。

＜読み物—小学校中学年から＞

『帽子から電話です』 長田弘/作 長新太/絵 偕成社 2017.12 ¥1200

「コーヒー屋のテーブルの上にぼくを忘れて帰っちゃった。」お父さんの青いしましま帽子から、こんな電話がかかってきた。この帽子、お父さんが、今何をしたいかを教えてくれる、お父さんにはなくてはならない物。なのに、次は駅のベンチに忘れてしまう。そして十日後、電話がかかってきたのは、ニューヨークの自由の女神の頭の上からだった…。1974年出版の新装版。

『最後のオオカミ』 マイケル・モーパーゴ/作 はらるい/訳 黒須高嶺/絵 文研出版 2017.12 ¥1200

親のいない12歳の少年ロビーは、自分を奴隷のように扱う叔父から逃れ、倒れこんだ馬小屋の主の夫婦の子として人生を送っていた。その後イギリス軍に入るが、あまりの残虐さに、軍から逃げ出し、親を殺されたオオカミの子とアメリカに渡る。やがてオオカミは、本来の野生の血が目覚め、ロビーのもとを離れていった。先祖の回想録の形で記されたイギリス作品。訳者は山口県出身。

＜読み物—小学校高学年から＞

『助っ人マスター』 高森美由紀/作 フレーベル館 2017.11 ¥1400

小5の砂羽は「助っ人マスター」係。先生やクラスメイトから頼まれたことを快く引き受ける係だ。こんな係を引き受けたのは、人に嫌われたくないから。4年前に母親と妹が出て行ったのは、砂羽のことを嫌いになったからだ、自分を責め続けているのだった。そんな砂羽に、地区のマラソン大会に出る仕事が依頼された。走るのには得意ではなかったが…。繊細な思春期の少女の成長物語。

＜読み物—中学生から＞

『ひかり舞う』 中川なをみ/著 スカイエマ/絵 ポプラ社 2017.12 ¥1500

時は戦国。明智光秀の家臣だった父が討ち死にし、7歳にして母と別れ、男の針子となっていく少年・平史郎。鉄砲衆のタツヤ絵描きの周二、朝鮮出兵で連れ帰った少女おたあ（ジュリア）や小西行長との出会いを通して成長し、縫い物師として独り立ちしていく。激動の時代を生き抜いた少年と周囲の人々の人生模様を描く。「teens' best selections」。

『笑う化石の謎』 ピッパ・グッドハート/著 千葉茂樹/訳 あすなる書房 2017.11 ¥1500

ケンブリッジ郊外の村でのビルの暮らしは父の失職で大転換。13歳で化石肥料の採掘場で働き、そこで見つけた化石で小遣い稼ぎ。ある日、偶然発見したワニのような化石をいとこのアルフと掘り出すが、アルフの父が放火犯として投獄されてしまい…。1850年代のイクチオサウルス化石発見の史実を基に、好奇心旺盛な少年の活躍を描いた、イギリスの人気作家の初訳作品。

＜ノンフィクション—小学校低学年から＞

『1日10分でせかいちずをおぼえる絵本』 あきやまかぜさぶろう/作 講談社 2017.11 ¥1800

長靴の形をしていることで有名なイタリア。スイスはくらげ、スウェーデンはゴーヤ、ペルーはうさぎ、かたつむりの形はイランだよ。あっと驚く面白いイラスト、ミニゲームやクイズで、全世界197か国のうち、主要国55か国の国の形と場所を、楽しく覚えらる絵本。国旗や首都、世界遺産や有名な産業、食べ物の情報もあり。見返しにも地図つき。

＜ノンフィクション—小学校中学年から＞

『なんでも未来ずかん どうなる?こうなる!ボクらの未来へ出発だ!!』 川崎タカオ・絵田川秀樹・ハマダミノル/絵 川口友万/監修 講談社 2017.11 ¥1700

絶滅動物がよみがえるバイオテクノロジー、空をつき抜ける驚異の宇宙エレベーター、空を飛ぶ自動車とドローン、太平洋を2時間で横断できる進化する次世代旅客機、どんな世界もつくり出せるバーチャルリアリティ。最新の科学技術や、世界で行われている研究を紹介。未来の世界を大予想し、レトロな空想イラストと写真、物語でえがく、絵本図鑑。

＜ノンフィクション—小学校高学年から＞

『しくみがまるわかり!骨のビジュアル図鑑』 ベン・モーガン、スティーブ・パーカー/著 戸田一雄/日本語版監修 太田てるみ/訳 岩崎書店 2017.12 ¥4000

手の骨は全部で27個も!鎖骨は骨格の中で、最後まで成長を続けるんだって。血液は骨で作られてるって知ってる?赤ちゃんの骨は300個以上、でも大人は206個、どうして減るの?頭からつま先まで、骨のしくみや役割をわかりやすく解説。動物との比較や簡単にできる実験コラムなどで、自分の骨や体への興味が深まる。実物大の全身骨格ポスター付きの、骨のビジュアル図鑑。

『写真がかっこよくとれる30のわざ 自由研究や観察に使えるわざ』 塩見徹/監修 くもん出版 2018.1 ¥2500

飼育日誌の表紙に貼るクワガタのかっこいい写真を撮る、雲の種類を調べるために雲の形をはっきり写す、ペットボトルロケットの発射の迫力ある瞬間を写す等、自由研究や観察のまじめに必要な写真がかっこよく撮れる技を、実際に撮影した写真を例に分かりやすく紹介。他に『わざ』をマスターしよう』『町調べや修学旅行に使えるわざ』の全3巻。

＜ノンフィクション—中学生から＞

『10代からのプログラミング教室 できる!わかる!うごく!』 矢沢久雄/著 河出書房新社 2017.12 ¥1300

プロのプログラマーが、プログラミング初心者に向けて、漫画やイラストを交えてイチから解説。あらゆる分野において便利な道具を作るツール、自分のアイデアを具現化するツール、年齢に関係なくアイデア次第で世界中の人に役立つ、一度達成感を味わえば絶対におもしろくなる、そうしたプログラミングの魅力について語り、実践の手ほどきをする。「14歳の世渡り術」。

＜研究書＞

『資質・能力を育てる学校図書館活用デザイン「主体的・対話的で深い学び」の実現』 稲井達也/著 学事出版 2017.12 ¥1800

大学付属図書館長であり、SLA 参事でもある著者が、「時を忘れて学びひたる」という学ぶことの原点に立ち返り、日々の授業を通して探究心を育てていくための学校図書館活用のあり方を、網羅的にわかりやすく解説。日本国内の小・中学校のみならず、海外の学校図書館の取材をもとに、具体的に提案する。『学校図書館』掲載論文に書き下ろしなどを加えて書籍化。